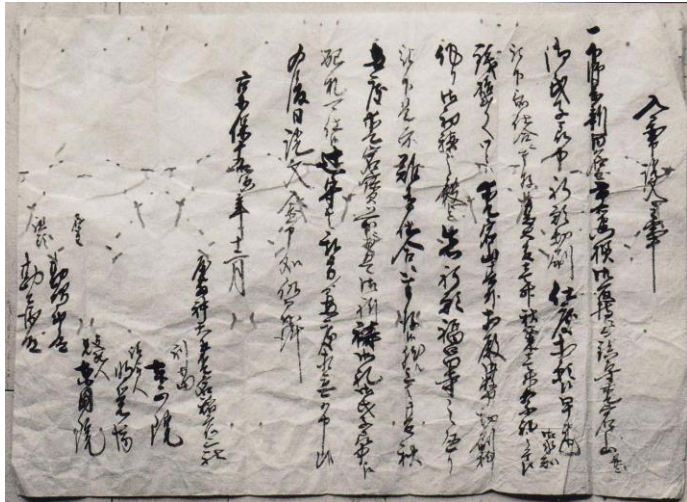


## 清水家文書

### 瑞穂町指定有形文化財

所在地：瑞穂町駒形富士山 316 番地 5 瑞穂町郷土資料館内



清水家は長谷部新田の開拓者として、享保から明治に至るまで、村の要職についてきた家柄です。同家の隆盛期は、化政期から明治に至る約 100 年と言われており、その時期の文書が最も

多くなっています。重要なものは開発初期の宝暦 9 年（1759）の検地帳上下、文化 9 年（1819）の宗門人別帳、天保 7 年（1836）の夫食拝借人数書上帳などが挙げられます。また、明治 2 年（1887）には、長谷部新田は葦山県支配所、下師岡新田は品川県支配所の影響下にあったことが同家の人別送り状により確認でき、貴重な資料となっています。